記入例１　公務災害認定請求書（自己の職務遂行中の負傷）

様式第１号

公 務 災 害 認 定 請 求 書

＊認定番号

被災職員が認定請求書を所属長に提出する日を記入すること

請求年月日　令和５　年　１　月　20　日

（宛先）
地方公務員災害補償基金埼玉県支部長

下記の災害については、公務により生じたものであることの認定を請求します。

請求者の住所　（〒　３３０　－　０５３１　）
さいたま市
鷹砂３－１５－１

請求者は被災職員本人、死亡の場合は遺族とすること

ふ り が な　さいたま　たろう
氏　　名　埼玉　太郎

氏名にはふりがなを振ること

被災職員との続柄　本人

被災職員が被災当時所属していた地方公共団体、所属名等を記入すること

１　被災職員に関する事項

所属団体名　埼玉県教育委員会
所属部局・課・係名（電話　0123－45－6789）　〇〇高等学校

共済組合員・健康保険組合員記号番号　埼０１２　第　３４５６　号

ふりがな　さいたま　たろう　☑ 男　□ 女
氏　　名　埼玉　太郎　平成６年　３月　８日生（　28歳）

氏名にはふりがなを振ること
被災当時の年齢を記入すること

職　　名　教諭　☑ 常　勤　□ 令第１条職員

災害発生の日時
令和５　年　１　月　16日（　月曜日）　午　前・後　11　時　25　分ごろ

疾病の場合は、医師の診断によって発症が確定した日

災害発生の場所
〇〇高等学校　階段

勤務場所以外の場合は番地まで記入すること
また、疾病等で分からない場合は「不明」と記入すること

傷病名
左足首捻挫、左手首捻挫

傷病名は、診断書のとおり転記すること

傷病の部位及びその程度
左足首　全治２週間、左手首　全治２週間

傷病の部位及びその程度については、傷病の部位ごとに療養見込期間（治ゆしている場合は、治ゆ日）を記入すること

＊受　理（到達した年月日）	所属部局	任命権者	基金支部
	年　月　日	年　月　日	年　月　日
＊通　知	年　月　日	＊認　定	年　月　日　□ 公務上　□ 公務外

〔注意事項〕
1　請求者は、＊印の欄には記入しないこと。また、該当する□にレ印を記入すること。
2　「職名」の欄には、職員が災害を受けた当時の職名を、例えば自動車運転手、車掌、守衛、主事、技師、教諭、船員、用務員、作業員、巡査、消防士等と記入すること。
3　「２災害発生の状況」又は「＊５任命権者の意見」の欄の記入に当たって別紙用紙を用いるときは、本欄には「別紙のとおり」と記入し、その別紙について所属部局の長の証明を受け、又は任命権者の意見の記入を求めること。
4　「＊３所属部局の長の証明」の欄の証明が困難である場合の取扱いは、地方公務員災害補償基金に相談すること。
5　年月日の記載には元号を用いる。

公務災害担当課（　　）	担当者		連絡先	

2 災害発生の状況	私は、１月１６日の午前１１時２５分頃、仕事の書類を地下倉庫にしまうため、書類をまとめたファイルを２冊を両手に抱えて、同僚の桜田さんと歩いていました。 地下に向かうため階段を降りていたところ、抱えていたファイルで前が見えづらかったため、左足から階段（下から２段目）を踏み外し、踊り場まで転落しました。 その際、咄嗟に左手掌を床につき、受け身を試みるも左手首から「ミシッ」という異音がなりました。激しい痛みにより、一人では動くことができなかったため、同僚の桜田さんに付き添ってもらいながら、保健室に行きました。 その後、痛みが引かないため仕事を早退し、家族に〇〇病院に連れていってもらいました。診察を受けた結果、「左足首捻挫」、「左手首捻挫」と診断されました。 全治約２週間とのことでしたが、１月３０日に治ゆしました。 **・災害発生の状況（特に、傷病の部位にどのような負荷がかかったか）について、具体的に記入すること** **・被災後の状況、療養の経過も記入すること** **・転医した場合は、必ずその状況、理由を記入すること** **※被災日と初診日が異なる場合は、その理由を記入すること**
＊3 所属長の証明	１及び２については、上記のとおりであることを証明します。 令和５ 年 １ 月 ２３ 日 **日付の記入漏れがないようにすること** **所属部局の長（被災職員の監督者たる課長以上の職又はこれに相当する職にある者）が事実を調査の上、証明すること** 所属部局の 所在地 〇〇市〇△１－２－３ 名称 〇〇高等学校 長の職・氏名 校長 高田 聡
4 添付する資料名	☑ 診断書 ☑ 現認書又は事実証明書 ☑ 災害発生状況図 □ 写真 □ 見取図 □ 出勤簿の写 □ 出張命令簿の写 □ 経路図 □ 通勤届の写 □ 時間外勤務命令簿の写 □ 第三者加害報告書 □ 交通事故証明書 □ 示談書 □ 補償先行申請書 □ 念書（被災職員、第三者） □ 関係規程 □ 定期健康診断記録簿の写 □ 既往歴報告書 □ X線写真 □ その他（ ）
＊5 任命権者の意見	教職員課で記入いたしますので、空欄のままご提出ください。

記入例２　公務災害認定請求書（出張中の事故による負傷）

様式第１号

公 務 災 害 認 定 請 求 書

＊認定番号

被災職員が認定請求書を所属長に提出する日を記入すること

請求年月日　令和５　年　１　月　20　日

（宛先）
地方公務員災害補償基金埼玉県支部長

下記の災害については、公務により生じたものであることの認定を請求します。

（〒　３３０　－　０５３１　）
請求者の住所　さいたま市
鷹砂３－１５－１
ふりがな　さいたま　じろう
氏　　名　埼玉　次郎
被災職員との続柄　本人

請求者は被災職員本人、死亡の場合は遺族とすること

氏名にはふりがなを振ること

被災職員が被災当時所属していた地方公共団体、所属名等を記入すること

１　被災職員に関する事項

所属団体名　〇〇町
所属部局・課・係名（電話　0987－78－7654）　水道課・施設担当

共済組合員・健康保険組合員記号番号　埼３５７　第　６７８　号

ふりがな　さいたま　じろう　☑ 男　□ 女
氏　　名　埼玉　次郎　平成８年　３月　６日生（　26歳）

氏名にはふりがなを振ること
被災当時の年齢を記入すること

職　　名　技師　☑ 常　勤　□ 令第１条職員

災害発生の日時
令和５　年　１　月　17日（　火曜日）　午　前　後　２　時　50　分ごろ

疾病の場合は、医師の診断によって発症が確定した日

災害発生の場所
〇〇町大字△△１２３４番地　町道３１号線　交差点

勤務場所以外の場合は番地まで記入すること
また、疾病等で分からない場合は「不明」と記入すること

傷病名
右第３・４肋骨骨折

傷病名は、診断書のとおり転記すること

傷病の部位及びその程度
右第３・４肋骨　全治2か月

傷病の部位及びその程度については、傷病の部位ごとに療養見込期間（治ゆしている場合は、治ゆ日）を記入すること

＊受　理（到達した年月日）	所　属　部　局	任　命　権　者	基　金　支　部
	年　月　日	年　月　日	年　月　日
＊通　知	年　月　日	＊認　定	年　月　日　□ 公務上　□ 公務外

〔注意事項〕
１　請求者は、＊印の欄には記入しないこと。また、該当する□にレ印を記入すること。
２　「職名」の欄には、職員が災害を受けた当時の職名を、例えば自動車運転手、車掌、守衛、主事、技師、教諭、船員、用務員、作業員、巡査、消防士等と記入すること。
３　「２災害発生の状況」又は「＊５任命権者の意見」の欄の記入に当たって別紙用紙を用いるときは、本欄には「別紙のとおり」と記入し、その別紙について所属部局の長の証明を受け、又は任命権者の意見の記入を求めること。
４　「＊３所属部局の長の証明」の欄の証明が困難である場合の取扱いは、地方公務員災害補償基金に相談すること。
５　年月日の記載には元号を用いる。

公務災害担当課（　　）	担 当 者		連 絡 先	

2 災害発生の状況	私は、１月１７日の午後２時４０分頃、町道３３１号線近くの水道管の点検を行うために、出張をしました。 公用車で用務先に向かっていたところ、町道３１号線の交差点に直進で進入した際、信号無視をした自動車に右側から衝突されました。時間は午後２時５０分ごろでした。 相手の自動車が自車の運転席側面に衝突した衝撃で、私は胸部右側を運転席ドアの内側に強く打ちつけました。 事故を目撃していた人が救急車を呼んでくれたので、私はすぐ〇〇病院に運ばれ治療を受け、「右第３・第４肋骨骨折」と診断されました。現在も入院治療中です。 **・災害発生の状況（特に、傷病の部位にどのような負荷がかかったか）について、具体的に記入すること** **・被災後の状況、療養の経過も記入すること** **・転医した場合は、必ずその状況、理由を記入すること** **※被災日と初診日が異なる場合は、その理由を記入すること** **所属部局の長（被災職員の監督者たる課長以上の職又はこれに相当する職にある者）が事実を調査の上、証明すること**
＊３ 所属長の証明の部局の	１及び２については、上記のとおりであることを証明します。 令和５ 年 １ 月 ２３ 日　**日付の記入漏れがないようにすること** 所属部局の　所在地　〇〇町〇△１－２－３ 名称　〇〇町水道課 長の職・氏名　課長　白根　百合
4　添付する資料名	☑ 診断書 ☑ 現認書又は事実証明書 ☑ 災害発生状況図 □ 写真 □ 見取図 □ 出勤簿の写 ☑ 出張命令簿の写 ☑ 経路図 □ 通勤届の写 □ 時間外勤務命令簿の写 □ 第三者加害報告書 □ 交通事故証明書 □ 示談書 ☑ 補償先行申請書 □ 念書（被災職員、第三者） ☑ 関係規程 □ 定期健康診断記録簿の写 □ 既往歴報告書 □ X線写真 □ その他（　　）
＊５ 任命権者の意見	教職員課で記入いたしますので、空欄のままご提出ください。

記入例３　災害発生の状況（特殊な事情下の通勤途中の負傷）

２　災害発生の状況

私は、当日の夜、会議資料作成のため午後５時１５分から午後１１時まで残業を行い、午後１１時１０分ごろバイクで市役所を出ました。

〇〇市〇△町の交差点で信号待ちをしていたところ、後方から来た自転車に追突され、その衝撃でバイクにまたがったまま右側へ転倒し、右肘と右膝を地面に強くぶつけました。

近くで事故を目撃した人が救急車を呼んでくれたので、救急車に乗って〇〇病院へ行き、「右肘頭骨折」の診断を受け、そのまま入院しました。１月１６日まで入院し、現在は通院治療中です。

なお被災当日の退勤方法、経路については、通勤届どおりの方法、経路であり、逸脱中断もしていません。

当日の勤務時間、通常の勤務時間、勤務場所を離れた時間を記入すること

事故の要因について明らかにすること

・通勤届の経路と当日の経路の関係を記入すること
・逸脱・中断の状況も記入すること

・災害発生の状況（特に、傷病の部位にどのような負荷がかかったか）について、具体的に記入すること
・被災後の状況、療養の経過も記入すること
・転医した場合は、必ずその状況、理由を記入すること
※被災日と初診日が異なる場合は、その理由を記入すること

所属部局の長（被災職員の監督者たる課長以上の職又はこれに相当する職にある者）が事実を調査の上、証明すること

＊３　所属長の証明

１及び２については、上記のとおりであることを証明します。

令和５ 年　１ 月 ２３ 日

日付の記入漏れがないようにすること

所属部局の
- 所在地　〇〇町〇△３－７－２４
- 名称　〇〇町　環境課
- 長の職・氏名　課長　志々見　緑

４　添付する資料名

☑ 診断書 ☑ 現認書又は事実証明書 ☑ 災害発生状況図 ☐ 写真 ☐ 見取図 ☐ 出勤簿の写
☐ 出張命令簿の写 ☑ 経路図 ☑ 通勤届の写 ☑ 時間外勤務命令簿の写 ☑ 第三者加害報告書
☑ 交通事故証明書 ☑ 示談書 ☐ 補償先行申請書 ☐ 念書（被災職員、第三者） ☐ 関係規程
☐ 定期健康診断記録簿の写 ☐ 既往歴報告書 ☐ X線写真 ☐ その他（　　）

＊５　任命権者の意見

教職員課で記入いたしますので、空欄のままご提出ください。

記入例４　災害発生の状況（レクリエーション参加中の負傷）

２　災害発生の状況

私は、１月２２日（日）に〇〇市主催のバレーボール大会に選手として出場しました。
私の出場する試合は第三試合で、スタメンとして出場していましたが、午後１２時３０分ごろ、スパイクを決めようと助走をつけて左足で思い切り踏み切ったところ、左足ふくらはぎに激痛がはしり動けなくなってしまいました。
その後、同僚の助けを借りて〇△病院に行き診察を受けた結果、「左足アキレス腱断裂」で全治３か月との診断を受けました。
現在も治療中です。

レクリエーションの主催者等を明らかにすること

勤務時間中に開催された場合は、服務上の取扱いについても記載すること

※レクリエーションの年間計画や開催通知の写し等を添付すること

被災後の状況、療養の経過についても記入すること

・災害発生の状況（特に、傷病の部位にどのような負荷がかかったか）について、具体的に記入すること
・転医した場合は、必ずその状況、理由を記入すること
※被災日と初診日が異なる場合は、その理由を記入すること

所属部局の長（被災職員の監督者たる課長以上の職又はこれに相当する職にある者）が事実を調査の上、証明すること

＊３　所属長の証明

１及び２については、上記のとおりであることを証明します。

令和５ 年　１ 月 ２３ 日

日付の記入漏れがないようにすること

所属部局の
- 所在地　〇〇市〇〇町１－２－３
- 名称　〇〇市△△部△△課
- 長の職・氏名　△△課長　田辺　太郎

４　添付する資料名

☑ 診断書 ☑ 現認書又は事実証明書 ☑ 災害発生状況図 ☐ 写真 ☐ 見取図 ☐ 出勤簿の写
☐ 出張命令簿の写 ☐ 経路図 ☐ 通勤届の写 ☐ 時間外勤務命令簿の写 ☐ 第三者加害報告書
☐ 交通事故証明書 ☐ 示談書 ☐ 補償先行申請書 ☐ 念書（被災職員、第三者） ☐ 関係規程
☐ 定期健康診断記録簿の写 ☐ 既往歴報告書 ☐ X線写真 ☑ その他（ レクリエーション開催通知 ）

＊５　任命権者の意見

教職員課で記入いたしますので、空欄のままご提出ください。

記入例５　災害発生の状況（腰痛事案）

被災時の動作、姿勢をできるだけ具体的に記入すること

被災後の状況、療養の経過を記入すること

取り扱ったものの形状も、できるだけ正確に記入すること

所属部局の長（被災職員の監督者たる課長以上の職又はこれに相当する職にある者）が事実を調査の上、証明すること

日付の記入漏れがないようにすること

２　災害発生の状況	私は、１月１６日、午前１１時１５分ごろ、〇〇市８－７－１の路上のゴミ収集所で、同僚の坂浦さんとテレビや棚などの粗大ゴミを収集車の荷台に積み込んでいました。 衣装ダンスを積み込もうとしたのですが、重そうだったので、坂浦さんと２人で持ち上げることにしました。 まず、衣装ダンスの角を２人で持ち、息を合わせて持ち上げることにしたのですが、腰を曲げ、両手で衣装ダンスの角を持ち、膝を落として中腰の姿勢から持ち上げようとしたところ、腰に激しい痛みがありました。 直ちに作業を中止し、上司に電話で連絡して、坂浦さんの運転で近くの〇〇病院まで連れていってもらいました。 「急性腰痛症」の診断を受け、現在も治療中です。 なお、持ち上げようとした衣装ダンスは、縦１６０ｃｍ、横８０ｃｍ位の大きさで、木製のタンスでした。中身は入っていませんでしたが、重さは８０ｋｇ位あったと思います。 **・災害発生の状況（特に、傷病の部位にどのような負荷がかかったか）について、具体的に記入すること** **・転医した場合は、必ずその状況、理由を記入すること** **※被災日と初診日が異なる場合は、その理由を記入すること**
＊３　所属部局の長の証明	１及び２については、上記のとおりであることを証明します。 令和５ 年　１ 月 ２３ 日 所属部局の　所在地　〇〇市〇△３－２－１ 名称　〇〇清掃組合 長の職・氏名　事務局長　石村　俊
４　添付する資料名	☑ 診断書 ☑ 現認書又は事実証明書 ☑ 災害発生状況図 ☐ 写真 ☐ 見取図 ☐ 出勤簿の写 ☐ 出張命令簿の写 ☐ 経路図 ☐ 通勤届の写 ☐ 時間外勤務命令簿の写 ☐ 第三者加害報告書 ☐ 交通事故証明書 ☐ 示談書 ☐ 補償先行申請書 ☐ 念書（被災職員、第三者） ☐ 関係規程 ☐ 定期健康診断記録簿の写 ☑ 既往歴報告書 ☐ Ｘ線写真 ☐ その他（　　）
＊５　任命権者の意見	教職員課で記入いたしますので、空欄のままご提出ください。

記入例６　災害発生の状況（汚染血液事案）

※　検査結果については、診断書（汚染血液事案用）に記入すること

２　災害発生の状況	私は、１月１６日午前１１時ごろ、〇〇病棟の病室において〇〇検査を行っていました。 患者さんに使用した注射針を片付けるため、針先にキャップをしようとしていたところ、誤って自分の左手中指に刺してしまいました。 その後、直ちに患部洗浄し、上司に報告後、医師の診察を受けました。 今後、１，３，６，１２か月間経過を観るために定期的に検査を受けるよう指示されています。
＊３　所属部局の長の証明	１及び２については、上記のとおりであることを証明します。 令和５ 年　１ 月 ２３ 日 所属部局の　所在地　〇〇市〇△町１－２－３ 名称　〇〇市立病院 長の職・氏名　院長　白羽　灯子
４　添付する資料名	☑ 診断書 ☑ 現認書又は事実証明書 ☑ 災害発生状況図 □ 写真 □ 見取図 □ 出勤簿の写 □ 出張命令簿の写 □ 経路図 □ 通勤届の写 □ 時間外勤務命令簿の写 □ 第三者加害報告書 □ 交通事故証明書 □ 示談書 □ 補償先行申請書 □ 念書（被災職員、第三者） □ 関係規程 □ 定期健康診断記録簿の写 □ 既往歴報告書 □ X線写真 □ その他（　　）
＊５　任命権者の意見	教職員課で記入いたしますので、空欄のままご提出ください。

・災害発生の状況（特に、傷病の部位にどのような負荷がかかったか）について、具体的に記入すること
・被災後の状況、療養の経過も記入すること
・転医した場合は、必ずその状況、理由を記入すること
※被災日と初診日が異なる場合は、その理由を記入すること

所属部局の長（被災職員の監督者たる課長以上の職又はこれに相当する職にある者）が事実を調査の上、証明すること

日付の記入漏れがないようにすること